

※一部非公開

平成31年度  
大学院医学研究科（修士課程）第1次募集  
入学試験問題

平成30年9月22日（土）

英 語

10:00～11:40

合図があるまで問題を開いてはいけません。

受験番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

以下の英文記事は、2018年に発生したEbolaウイルス感染のアウトブレイクに関するものです。パラグラフ番号を①～⑥で示しています。ここに記載される情報を基に、問に日本語で解答してください。

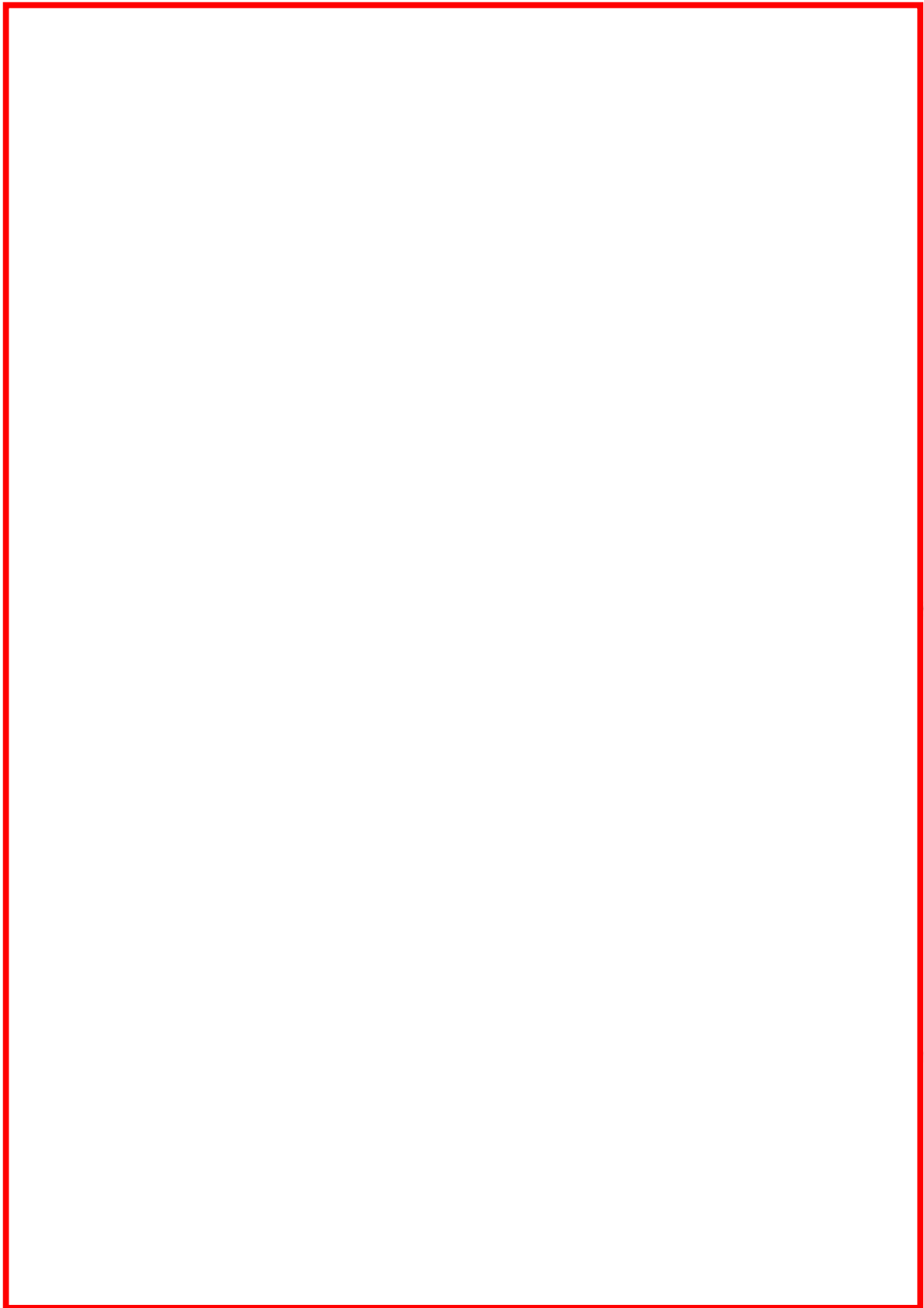
**Congo rapidly curtails Ebola.**, J. Cohen. *Science* 2018. 361: 211. (一部削除)



注1) この記事のEbolaは、Ebola virus と Ebola virus disease の両者に使われている。問いでは使い分けをしている。

注2) 最後のEbola virus 感染患者がウイルス陰性とされた日から、ウイルス潜伏期(21日)の2倍にあたる42日が経過したことをもって終息宣言とした。





- 問1 2018年のコンゴ民主共和国における Ebola virus disease 発生と終息の時間的経過について、パラグラフ①に基づいて述べよ。(10点)
- 問2 2018年と2014-2016年の Ebola virus disease のアウトブレイクについて、その規模の違いをパラグラフ②に基づいて述べよ。(10点)
- 問3 2018年の Ebola virus disease のアウトブレイクが速やかな終息に至ったのは、どのような対策の結果か、パラグラフ②に基づいて述べよ。(10点)
- 問4 パラグラフ③の下線部を和訳せよ。(10点)
- 問5 Ebola virus に対するワクチン接種は、その本来の作用から逸れた効果 (*tangential benefit*、斜体で示す) をもたらした。その効果について、パラグラフ③に基づいて記載せよ。(10点)
- 問6 パラグラフ④の波下線部を和訳せよ。(10点)
- 問7 今回のアウトブレイクで用いられたワクチンについて、2015年の使用状況とその結果について、パラグラフ⑤に基づいて記載せよ。(10点)
- 問8 今後のアウトブレイクに備えて、どのような対策が検討されているか、Muyembe-Tamfum 博士の考えをパラグラフ⑥に基づいて述べよ。(10点)

〈修士課程問題〉

解 答 用 紙

受験番号

氏名

問 1

問 2

問 3

問 4

〈修士課程問題〉

解 答 用 紙

受験番号

氏名

問 5

問 6

問 7

問 8